

危機管理（救急・災害）医学講座

Crisis (Emergency and Disaster) Medicine

教授	奥寺 敬	Hiroshi Okudera
准教授（前）	有嶋 拓郎	Takuro Arishima
講師	若杉 雅浩	Masahiro Wakasugi
助教	工廣紀斗司	Kitoji Takuhiro
診療助手（併）（前）	旭 雄士	Takashi Asahi

◆ 著 書

- 1) 奥寺 敬：「災害時のヘルスプロモーション2 減災に向けた施設内教育研修・訓練プログラム」奥寺 敬，山崎達枝監修，1-315，荘道社，東京，2010。（ISBN9784915878794）
- 2) 奥寺 敬：院内トリアージ（救急患者緊急度判定支援）ガイド。東京都病院協会急性期医療委員会，東京都病院協会，東京，2010。
- 3) 若杉雅浩，奥寺 敬：シミュレーション医学と教育。「救急・集中治療医学レビュー2010」島崎修次・前川剛志（監），15-18，総合医学社，東京，2010。
- 4) 奥寺 敬：CTAS と緊急度判定支援システム。「緊急度判定支援システム CTAS2008 日本語版/JTAS プロトタイプ」日本救急医学会・日本臨床救急医学会・日本看護学会（監），1-3，へるす出版，東京，2010。
- 5) 奥寺 敬：緊急度判定支援システムと理解しておくべき事項。「緊急度判定支援システム CTAS2008 日本語版/JTAS プロトタイプ」日本救急医学会・日本臨床救急医学会・日本看護学会（監），4-15，へるす出版，東京，2010。
- 6) 工廣紀斗司：第1章 トリアージを理解する。「救急外来トリアージ実践マニュアル」奥寺 敬（編），8-19，メディカ出版，大阪，2010。
- 7) 西塔依久美*：第2章 救急外来トリアージのポイントを理解・実践する！ 2-1 心肺停止。「救急外来トリアージ実践マニュアル」奥寺 敬（編），22-27，メディカ出版，大阪，2010。
- 8) 西塔依久美*：第2章 救急外来トリアージのポイントを理解・実践する！ 2-2 呼吸停止。「救急外来トリアージ実践マニュアル」奥寺 敬（編），28-40，メディカ出版，大阪，2010。
- 9) 西塔依久美*：第2章 救急外来トリアージのポイントを理解・実践する！ 2-3 ショック。「救急外来トリアージ実践マニュアル」奥寺 敬（編），41-48，メディカ出版，大阪，2010。
- 10) 橋本真由美*：第2章 救急外来トリアージのポイントを理解・実践する！ 2-6 胸痛。「救急外来トリアージ実践マニュアル」奥寺 敬（編），77-85，メディカ出版，大阪，2010。
- 11) 橋本真由美*：第2章 救急外来トリアージのポイントを理解・実践する！ 2-7 腹痛。救急外来トリアージ実践マニュアル」奥寺 敬（編），86-94，メディカ出版，大阪，2010。
- 12) 西塔依久美*：第5章 高齢者のトリアージを理解・実践する！ 救急外来トリアージ実践マニュアル」奥寺 敬（編），234-241，メディカ出版，大阪，2010。
- 13) 若杉雅浩：第7章 救急外来トリアージのポイントを理解・実践する！ 7-2 Off the job training の活用。「救急外来トリアージ実践マニュアル」奥寺 敬（編），264-269，メディカ出版，大阪，2010。
- 14) 奥寺 敬：第8章 救急外来緊急度判定支援システム CTAS/JTAS。「救急外来トリアージ実践マニュアル」奥寺 敬（編），271-275，メディカ出版，大阪，2010。
- 15) 有嶋拓郎，奥寺 敬：医学・看護教育としての訓練。「災害時のヘルスプロモーション2 減災に向けた施設内教育研修・訓練プログラム」奥寺 敬，山崎達枝（監），70-78，荘道社，東京，2010。
- 16) 若杉雅浩，奥寺 敬：多傷傷病者の受け入れ訓練—エマルゴによる訓練。「災害時のヘルスプロモーション2 減災に向けた施設内教育研修・訓練プログラム」奥寺 敬，山崎達枝（監），79-89，荘道社，東京，2010。
- 17) 有嶋拓郎，伊藤亜沙子：中毒。「ナースの内科学 改定7版」奈良信雄編，677-687，中外医社，東京，2010。
- 18) 西塔依久美*：Ⅲ章 ファーストエイド各論 意識障害。「ファーストエイド」日本救急看護学会（監），63-69，へるす出版，東京，2010。
- 19) 西塔依久美*：Ⅲ章 ファーストエイド各論 運動・感覚障害。「ファーストエイド」日本救急看護学会（監），70-75，へるす出版，東京，2010。
- 20) 橋本真由美*，奥寺 敬：1. 救急患者への対応。「ナースのための脳神経外科 Ⅷ患者の看護と対応」橋本信夫（監），

348-356, メディカ出版, 大阪, 2010.

- 21) 丹下大祐, 奥寺 敬: 4. 自動体外式除細動器 (AED), 除細動, カルディオバージョンの指針. 「救急・集中治療ガイドライン—最新の診療指針—2010-11」岡元和文 (編), 9-10, 総合医学社, 東京, 2010.

◆ 原 著

- 1) Nakamura T., Ajimi Y., Okudera H., Yamada M., Imizu S., Hirayama T., Shima K., Kawamoto K., Kato Y., Sano H: The modules for ISLS/PNLS combined course as International Version: Report of Workshop in 9th International Conference of Cerebrovascular Surgery. *Asian J Neurosurg*, 5: 95-100, 2010.
- 2) 若杉雅浩, 奥寺 敬: 頭部外傷を含む多発外傷患者の対応と問題点. *脳神経外科ジャーナル*, 19 (3): 216-220, 2010.
- 3) 橋本真由美*: キャリアアップレポート 10. ISLS ファシリテーター. *ナース専科*, 30 (4): 118-121, 2010.
- 4) 安心院康彦, 奥寺 敬, 中村丈洋, 坂本哲也: ISLS コースにおける知識の整理—クリニカルマップを用いたグループワークの紹介—. *日本神経救急学会雑誌*, 22 (2): 1-5, 2010.
- 5) 有賀 徹, 奥寺 敬: 救急医療における緊急度判断・選別の標準化について—Japan Triage and Acuity Score (JTAS) 作成の意義—. *日本臨床救急医学会雑誌*, 22: S1-S5, 2010.
- 6) 西塔依久美*: 救急外来とトリアージナース. 2. 各病院での試み. *日本臨床救急医学会雑誌*, 22: S19-S24, 2010.
- 7) 工廣紀斗司: 救急患者緊急度判定支援システム JTAS の開発. 2. カナダの救急外来支援システム CTAS について. *日本臨床救急医学会雑誌*, 22: S42-S46, 2010.
- 8) 奥寺 敬: 救急患者緊急度判定支援システム JTAS の開発. 3. CTAS の我が国への導入: JTAS の基本コンセプト. *日本臨床救急医学会雑誌*, 22: S46-S52, 2010.
- 9) 中村丈洋, 細見直永, 黒田泰弘, 市原新一郎, 関貫聖二, 竹内広幸, 伊藤勝博, 安心院康彦, 田宮 隆, 奥寺 敬: 脳卒中救急診療の地域連携を目指した ISLS/PSLS 同時開催の試み—香川県におけるハイブリッドコース開催経験より—. *日本臨床救急医学会雑誌*, 13 (3): 361-368, 2010.
- 10) 中村丈洋, 細見直永, 黒田泰弘, 東條 仁, 田宮 隆, 奥寺 敬: 脳卒中病院前救護 (PSLS: Prehospital Stroke Life Support) コースの消防学校専科教育救急科への導入と検討 香川県消防学校での試み. *日本臨床救急医学会雑誌*, 13 (4): 505-511, 2010.
- 11) 三宅康史, 有賀 徹, 井上健一郎, 奥寺 敬, 北原孝雄, 島崎修次, 鶴田良介, 横田裕行: 日本救急医学会熱中症に関する委員会: 本邦における熱中症の実態 Heatstroke STUDY 2008 最終報告. *日本救急医学会雑誌*, 21 (5): 230-244, 2010.
- 12) 有賀 徹, 奥地一夫, 奥寺 敬, 北原孝雄, 木下順弘, 杉本 壽, 行岡哲男, 横田裕行: 改正臓器移植法が施行されるにあたっての諸課題. *脳死・脳蘇生*, 22 (2): 69-74, 2010.
- 13) 横田裕行, 有賀 徹, 奥地一夫, 奥寺 敬, 北原孝雄, 木下順弘, 杉本 壽, 行岡哲男: 脳死判定における補助検査. *脳死・脳蘇生*, 22 (2): 63-68, 2010.
- 14) 木下順弘, 有賀 徹, 奥地一夫, 奥寺 敬, 北原孝雄, 杉本 壽, 行岡哲男, 横田裕行: 現行の脳死判定基準がかかえる課題と改善の提案. *脳死・脳蘇生*, 22 (2): 55-62, 2010.
- 15) 岩瀬正顕, 島 克司, 奥寺 敬, 加藤庸子, 安心院康彦, 井水秀栄, 鹿野 恒, 亀山元信, 末廣栄一, 中村丈洋, 名取良弘, 平山晃康, 本多 満, 松前光紀, 吉村紳一, 佐野公俊, 河本圭司: 脳神経外科救急基礎 (PNLS: Primary Neurosurgical Life Support) インストラクター・ワークショップ開催報告. *Neurosurgical Emergency*, 14 (2): 110-116, 2010.
- 16) 有嶋拓郎: 脳卒中と誤りやすいその他の神経症状—どう鑑別するか—. *臨床研修プラクティス*, 7: 18-23, 2010.
- 17) 有嶋拓郎: 肺塞栓って D-dimer さえ測定しておけばいいんでしょ. *Medicina*, 47: 784-787, 2010.
- 18) 有嶋拓郎: 頸椎頸髄損傷. *月刊レジデント*, 3: 75-82, 2010.
- 19) 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 濱田浄司, 松井恒太郎, 工廣紀斗司, 澁谷伸子, 奥寺 敬: 医学部学生に対する疑似 ICU を使った集中治療医学の臨床教育. *ICU と CCU*, 34: 1035-1041, 2010.
- 20) 若杉雅浩, 奥寺 敬: 意識障害患者の現場での重症度評価と搬送適応. *救急医療ジャーナル*, 18 (6): 14-19, 2010.
- 21) 鶴田良介, 有賀 徹, 井上健一郎, 奥寺 敬, 北原孝雄, 島崎修次, 三宅康史, 横田裕行: 人工呼吸管理を要した熱中症患者の予後予測因子. *日本救急医学会雑誌*, 21 (9): 786-7912, 2010.
- 22) 奥寺 敬: 患者さんのどんなサインも見逃さない! 救急外来トリアージ実践マニュアル 救急外来患者緊急度判定支援システム CTAS/JTAS. *EMERGENCY CARE* 2010 夏季増刊, 272-275, 2010.
- 23) 若杉雅浩, 工廣紀斗司, 奥寺 敬: 日本・カナダ合同緊急度判定支援システム研究学会—開催報告. 富山大学医学

会雑誌, 21 : 56-59, 2010.

- 24) 西塔依久美* : ハワイ大学のシミュレーション教育—ハワイ大学 Sim Tiki Simulation Center. EMERGENCY CARE, 23(5) : 78-79, 2010.

<補遺>

- 25) 奥寺 敬 : 第1回PNLS インストラクター・ワークショップ. 脳神経外科速報, 19(10) : 1198-1199, 2009.

◆ 学会報告

- 1) Nakamura T., Ajimi Y., Kuroda Y., Itano T., Tamiya T., Okudera H.: Application of Simulation-Based Stroke Training Course System (ISLS: Immediate Strike Life Support Course) for Medical Students. 10th Annual International Meeting on Simulation in Healthcare, Phenix Convention Center, 2010, 1, 24-27, Arizona, U.S.A.
- 2) Ajimi Y., Sakamoto T., Nakamura T., Sagawa T., Fujita T., Hamada H., Morimura N., Ikegami K., Okudera H.: Group Work with Clinical Maps: A new training method for constructing a medical knowledge structure Of Stroke in ER. 10th Annual International Meeting on Simulation in Healthcare, Phenix Convention Center, 2010, 1, 24-27, Arizona, U.S.A.
- 3) Okudera H., Wakasugi M., Hamada J., Ajimi Y., Nakamura T.: Development of International Stroke Life Support. 1st International Stroke Life Support Meeting, Telehealth Research Institute, John A. Burns School of Medicine, University of Hawaii, 2010, 3, 29, Honolulu, Hawaii, U.S.A.
- 4) Nakamura T., Okudera H.: Learning Method on Consciousness Level in International Stroke Life Support. 1st International Stroke Life Support Meeting, Telehealth Research Institute, John A. Burns School of Medicine, University of Hawaii, 2010, 3, 29, Honolulu, Hawaii, U.S.A.
- 5) Ajimi Y., Okudera H.: Analysis of Patient Management in International Stroke Life Support. 1st International Stroke Life Support Meeting, Telehealth Research Institute, John A. Burns School of Medicine, University of Hawaii, 2010, 3, 29, Honolulu, Hawaii, U.S.A.
- 6) Wakasugi M., Hamada J., Arishima T., Okudera H., Aruga T., Yokota H.: Validity of the classification of heat illness. International Conference on Emergency Medicine, SUNTEC Singapore, 2010, 9, 9-12, Singapore, Songapore.
- 7) Takuhiro K., Okudera H., Wakasugi M., Saito I., Arishima T., Hamada J.: Implementation of Japan Triage and Acuity Scale. International Conference on Emergency Medicine, SUNTEC Singapore, 2010, 9, 9-12, Singapore, Songapore.
- 8) 奥寺 敬 : CTAS の我が国への導入・JTAS の基本コンセプトについて. 日本臨床救急医学会緊急シンポジウム「Stop たらい回し 今, 救急医療に求められるもの」, 東京ガーデンパレス, 2010, 1, 14, 東京.
- 9) 西塔依久美* : 救急外来とトリアージナース. 2. 各病院での試み. 日本臨床救急医学会緊急シンポジウム「Stop たらい回し 今, 救急医療に求められるもの」, 2010, 1, 14, 東京.
- 10) 西塔依久美* : 救急外来におけるトリアージ. 済生会富山病院 看護師育成研修会, 2010, 1, 15, 富山.
- 11) 旭 雄士, 林 央周, 浜田秀雄, 梶本裕之, 佐藤未知, 遠藤俊郎 : ハンガー反射を用いた頸部ジストニアに対する治療の試み. 第49回日本定位・機能神経外科学会, 2010, 1, 23, 大阪.
- 12) 奥寺 敬 : 医療改革とシミュレーション研修 (基調講演). 第2回日本医療教授システム学会・総会, 学術総合センター, 2010, 2, 15, 東京.
- 13) 奥寺 敬 : シミュレーション研修のまとめ方. 第2回日本医療教授システム学会・総会, 学術総合センター, 2010, 2, 15, 東京.
- 14) 西塔依久美* : CTAS 基礎セミナー「トリアージの基本」. 第2回日本医療教授システム学会・総会, 学術総合センター, 2010, 2, 15, 東京.
- 15) 西塔依久美* : 脳卒中センターにおける看護師の役割—他職種連携のあり方—. 済生会富山病院研修会, 2010, 2, 25, 富山.
- 16) 安心院康彦, 大貫隆広, 永島 博, 奥寺 敬, 中村丈洋, 坂本哲也 : サージカルマップを用いた医学生への脳神経外科手術教育—脳神経外科手術知識構造化の応用— (シンポジウム). 第15回日本脳神経外科救急学会, 東京慈恵会医科大学1号館, 2010, 2, 26-27, 東京.
- 17) 井水秀榮, 加藤庸子, 森田 功, 伊藤圭介, 島さゆり, 清水康裕, 二村美香, 毛受淳一, 鈴木伸行, 奥寺 敬, 佐野公俊 : 脳卒中初期診療における教育コース開催による他職種との連携強化の効果について (シンポジウム). 第15回日本脳神経外科救急学会, 東京慈恵会医科大学1号館, 2010, 2, 26-27, 東京.
- 18) 岩瀬正顕, 島 克司, 奥寺 敬, 加藤庸子, 安心院康彦, 中村丈洋, 本多 満, 河本圭司 : 脳神経外科救急基礎 (PNLS : Primary Neurosurgical Life Support) インストラクターワークショップ開催報告 (シンポジウム). 第15回日本脳神経

外科救急会，東京慈恵会医科大学1号館，2010，2，26-27，東京。

- 19) 東岡宏明，三宅康史，中村俊介，有賀 徹，有嶋拓郎，奥寺 敬，斎藤正樹，米盛輝武：ISLSにおける東京コースの工夫とその評価。第15回日本脳神経外科救急学会，東京慈恵会医科大学1号館，2010，2，26-27，東京。
- 20) 奥寺 敬：脳神経外科救急と ISLS-WS2010。第15回日本脳神経外科救急学会，東京慈恵会医科大学，2010，2，27，東京。
- 21) 有嶋拓郎，若杉雅浩，工廣紀斗司，旭 雄士，奥寺 敬，渋谷伸子：医学部学生に対する常設の疑似ICUを使った集中治療医学の臨床教育。第37回日本集中治療医学学会学術集会，リーガロイヤルホテル広島，2010，3，4-6，広島。
- 22) 渋谷伸子，柳 堅徳，奥寺 敬，積永清志，山崎光章，板澤寿子：肺炎による重篤な低酸素血症に対し，NO吸入療法を行った2例。第37回日本集中治療医学学会学術集会，リーガロイヤルホテル広島，2010，3，4-6，広島。
- 23) 下川一生，若杉雅浩，旭 雄士，有嶋拓郎，渋谷伸子，奥寺 敬：トシリズマブ投与中患者に発症した劇症型A群連鎖球菌感染症の治療経験。第37回日本集中治療医学学会学術集会，リーガロイヤルホテル広島，2010，3，4-6，広島。
- 24) 奥寺 敬：豪雪時における中山間地の救急医療の実態—豪雪と命の確保について—。第24回北陸雪氷技術シンポジウム，ボルファート富山，2010，3，14，富山。
- 25) 奥寺 敬：院内事故調査委員会のあり方—日本救急医学会からの提案—。（ランチョンセミナー）第32回日本POS医療学会大会，昭和大学上条記念講堂，2010，3，27，東京。
- 26) 奥寺 敬：脳卒中初期診療コース・指導者養成WS。第26回日本救急医学会中国四国地方会，サンポート高松，2010，5，15，香川。
- 27) 西塔依久美*，工廣紀斗司，奥寺 敬：わが国における救急外来トリアージシステム開発の現状。第26回日本救急医学会中国四国地方学術集会・シンポジウム，2010，5，15，高松。
- 28) 奥寺 敬：地域救急医療の支援体系としてのJTAS—CTAS 2008日本語版とJTASの開発—。日本臨床救急医学会 地域救急医療体制検討委員会シンポジウム，東京コンファレンスセンター品川，2010，5，29，東京。
- 29) 奥寺 敬：緊急度判定支援システム（CTAS 2008日本語版/JTAS プロトタイプ）。（ランチョンセミナー）第13回日本臨床救急医学会総会・学術総会，幕張メッセ，2010，5，31-6，1，東京。
- 30) 奥寺 敬：新しい意識障害評価スケールECSの特徴。第46回日本交通科学協議会・学術講演会，つくば国際会議場，2010，6，11-12，茨城。
- 31) 奥寺 敬：脳卒中初期診療体制の構築—現状と展望—（特別講演）。第13回日本病院脳神経外科学会，釧路市観光国際交流センター，2010，7，17-18，釧路。
- 32) 奥寺 敬：救急外来緊急度判定支援システム—CTAS2008日本語版/JTAS プロトタイプ—（シンポジウム）。第60回日本病院学会，長良川国際会議場，2010，7，22-23，岐阜。
- 33) 奥寺 敬：周術期医療における神経学的所見の評価—ISLS（神経蘇生コース）の意義。ナースのための周術期管理セミナー，ロイトン札幌，2010，7，31，札幌。
- 34) 西塔依久美*：救急診療における各職種間連携のありかた。日本救急撮影技師認定機構 第1回救急撮影シンポジウム，2010，8，8，東京。
- 35) 奥寺 敬：災害が発生すると救急医療は。糸魚川市地域医療フォーラム 2010，ビーチホールまがたま，2010，8，29，糸魚川。
- 36) 奥寺 敬：脳卒中病院前救護 Prehospital Stroke Life Support—背景となる神経蘇生の最新の動向。第8回日本臨床医療福祉学会，2010，9，4，水戸。
- 37) 奥寺 敬：本邦における救急外来トリアージの展望—CTAS日本語版/JTAS プロトタイプ。第6回ブラッシュアップセミナー・日本救急看護認定看護師会総会，秋葉原UDX，2010，9，4，東京。
- 38) 奥寺 敬，中村丈洋：神経蘇生コースとしてのISLS。第8回日本臨床医療福祉学会 ISLS，水戸医療センター，2010，9，5，水戸。
- 39) 奥寺 敬，谷崎義生，竹川英宏：神経蘇生コース Immediate Stroke Life Support—背景となる神経蘇生の最新の動向。第29回日本蘇生学会，2010，9，10-11，宇都宮。
- 40) 奥寺 敬：ISLS（神経蘇生）コースと日本版心肺蘇生ガイドラインの動向について。第20回軽井沢カンファレンス，2010，9，11，軽井沢。
- 41) 奥寺 敬：富山型ER トリアージシステムの構築。富山県 CTAS/JTAS プロジェクト，富山県医師会館，2010，9，13，富山。

- 42) 奥寺 敬：緊急度判定支援システムと富山型 ER トリアージシステム. 富山県議会自民党政策勉強会, 富山県議会議事堂, 2010, 9, 15, 富山.
- 43) 松井恒太郎, 濱田浄司, 若杉雅浩, 有嶋拓郎, 奥寺 敬：顔面頭頸部の壊死性筋膜炎の1例. 第38回日本救急医学会総会・学術集会, 2010, 10, 9, 東京.
- 44) 森村尚登, 坂本哲也, 櫻井 淳, 三宅康史, 鈴木 昌, 本多英喜, 太田祥一, 木村昭夫, 石原 哲, 奥寺 敬, 有賀 徹：救急電話相談・救急現場・救急外来における緊急度評価指標の種類の関連性. 第38回日本救急医学会総会・学術集会, 東京ビッグサイト, 2010, 10, 9-11, 東京都.
- 45) 工廣紀斗司, 若杉雅浩, 濱田浄司, 有嶋拓郎, 奥寺 敬：JTAS 開発に向けた救急外来トリアージシステム導入のストラテジー. 第38回日本救急医学会総会・学術集会, 東京ビッグサイト, 2010, 10, 9-11, 東京都.
- 46) 安心院康彦, 奥寺 敬, 中村丈洋, 佐川俊世, 新藤正輝, 藤田 尚, 池田弘人, 森村尚登, 竹内保男, 西田昌道, 坂本哲也：各種初期診療コースのコンテンツと人的・時間的労力の比較—クリニカルマップによるコースコンテンツ抽出法を用いて. 第38回日本救急医学会総会・学術集会, 東京ビッグサイト, 2010, 10, 9-11, 東京都.
- 47) 若杉雅浩, 小倉憲一, 濱田浄司, 工廣紀斗司, 有嶋拓郎, 松井恒太郎, 奥寺 敬：救急救命士の気管挿管技術は維持されているか? 第38回日本救急医学会総会・学術集会, 東京ビッグサイト, 2010, 10, 9-11, 東京都.
- 48) 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 濱田浄司, 工廣紀斗司, 奥寺 敬, 松井恒太郎, 木田吉俊, 木下公久, 佐藤圭路, 岸川和弘, 鈴木伸行：内因性救急疾患の病院前救護の標準化をめざした PCEC コースの工夫. 第38回日本救急医学会総会・学術集会, 東京ビッグサイト, 2010, 10, 9-11, 東京都.
- 49) 濱田浄司, 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 工廣紀斗司, 松井恒太郎, 奥寺 敬：プロカルシトニンの救急外来での汎用性の検討. 第38回日本救急医学会総会・学術集会, 東京ビッグサイト, 2010, 10, 9-11, 東京都.
- 50) 種市尋宙, 若杉雅浩, 工廣紀斗司, 有嶋拓郎, 奥寺 敬：小児海外搬送の実際と問題点の考察. 第38回日本救急医学会総会・学術集会, 東京ビッグサイト, 2010, 10, 9-11, 東京都.
- 51) 奥寺 敬：PNLS と神経蘇生ガイドライン. 第3回脳神経外科救急基礎コース WS, サンポート高松, 2010, 10, 16, 高松.
- 52) 奥寺 敬：脳神経外科医の救急医療研修コースの開発. (ハンズオン・ワークショップ) 第69回日本脳神経外科学会総会, 2010, 10, 27, 福岡.
- 53) 奥寺 敬：CTAS とトリアージガイドラインについて. 第12回日本救急看護学会学術集会, 京王プラザホテル, 2010, 10, 29-30, 東京.

◆ その他

- 1) 奥寺 敬：シミュレーション研修の最新の動向. 琉球大学 FD レクチャー, 琉球大学医学部, 2010, 1, 23, 沖縄.
- 2) 奥寺 敬：脳卒中初期観察の注意点. 第19回 脳 ISLS/PSLS コース, 富山 HPTC, 2010, 1, 30, 富山.
- 3) 奥寺 敬, 山本由加里, 橋本真由美：医療従事者が心肺蘇生を学ぶ意義. 第54回 脳 ICLS/第9回 脳 DCLS コース, 富山 HPTC, 2010, 1, 31, 富山.
- 4) 奥寺 敬, 若杉雅弘, 西塔依久美：外傷初期診療入門—総論とトリアージ. 京都府看護協会 EBN セミナー, 京都府看護協会, 2010, 2, 6, 京都市.
- 5) 奥寺 敬：脳卒中初期診療コースにおけるファシリテーターの役割. 第2回信州 ISLS ファシリテーター養成 WS, 篠ノ井総合病院, 2010, 2, 7, 長野.
- 6) 奥寺 敬：脳卒中初期診療 (ISLS) コースと病院前救護 (PNLS) コースが地域にもたらすもの. 第三回湘南脳卒中ネットワークセミナー, 東海大学医学部講堂, 2010, 2, 19, 伊勢原市.
- 7) 奥寺 敬, 橋本真由美：シミュレーション研修と ISLS. 第一回秋田 ISLS-WS, 秋田脳血管研究センター会議室, 2010, 2, 21, 秋田市.
- 8) 奥寺 敬：救急医療と災害医療 (卒業記念講演). 国立病院機構富山病院看護学校, 2010, 3, 1, 富山市.
- 9) 奥寺 敬, 江波美紀, 橋本真由美：ICLS と DCLS の基礎. 第55回 脳 ICLS/第10回 脳 DCLS コース, 富山 HPTC, 2010, 3, 6, 富山.
- 10) 奥寺 敬, 橋本真由美, 山本由加里：心肺蘇生講習 ICLS/DCLS. 第56回 脳 ICLS/第11回 脳 DCLS コース, 富山 HPTC, 2010, 3, 7, 富山.
- 11) 奥寺 敬, 中村丈洋, 安心院康彦：シミュレーション研修としての ICLS と ISLS は何が違うのか? (Key Note Lecture) ISLS Workshop in 琴平, 2010, 3, 13-14, 香川.
- 12) 奥寺 敬：脳神経のシミュレーション研修. 平成21年度救急搬送連携強化推進事業・講演会, 白山市市民交流セン

ター, 2010, 3, 20, 石川.

- 13) 奥寺 敬, 有嶋拓郎, 若杉雅弘: 初期臨床研修と心肺蘇生. 平成 22 年度富山県初期臨床研修医 ICLS/DCLS コース, 富山 HPTC, 2010, 4, 3, 富山市.
- 14) 奥寺 敬, 有嶋拓郎, 若杉雅弘: 脳卒中初期診療. 平成 22 年度富山県初期臨床研修医 ISLS コース, 富山市民プラザ, 2010, 4, 9, 富山市.
- 15) 奥寺 敬, 有嶋拓郎, 若杉雅弘: 外傷初期診療について. 平成 22 年度富山県初期臨床研修医 BTEC コース, 富山市民プラザ, 2010, 4, 13, 富山市.
- 16) 奥寺 敬, 中村丈洋, 伊藤勝博, 井水秀榮: 脳卒中初期診療コース. 第 1 回弘前大学高度救命救急センター研修会 ISLS, 弘前大学医学部附属病院, 2010, 4, 19, 青森.
- 17) 奥寺 敬, 伊藤勝博, 中村丈洋: 脳卒中初期診療コース. 第 2 回弘前大学高度救命救急センター研修会 ISLS, 弘前大学医学部附属病院, 2010, 4, 20, 青森.
- 18) 奥寺 敬: Primary Neurosurgical Life Support の基本コンセプト. 第 3 回 PNLS-WS, 日本大学医学部, 2010, 4, 24, 東京.
- 19) 奥寺 敬, 橋本真由美: 脳卒中初期診療コース・ワークショップ. 第 1 回八戸 ISLS, 八戸赤十字病院, 2010, 4, 25, 青森.
- 20) 奥寺 敬: 世界のシミュレーション研修. 八戸赤十字病院講演会, 八戸赤十字病院, 2010, 4, 25, 青森.
- 21) 奥寺 敬, 谷崎義生, 中村丈洋: 脳卒中初期診療コース・ワークショップ. 第 1 回 BANDO-ISLS, 境町シンパシーホール, 2010, 5, 8, 茨城.
- 22) 奥寺 敬: 救命救急医療の最新の動向—地域中核医療機関のあり方. 脳卒中病診連携の会・BANDO メディカルコントロール協議会, 境町勤労青少年ホール, 2010, 5, 8, 茨城.
- 23) 奥寺 敬: 脳卒中を早く見つけて早くなおそう! 高松市民公開講座, サンポート高松, 2010, 5, 15, 香川.
- 24) 奥寺 敬, 中村丈洋: 脳卒中初期診療コースの概要と指導者養成. 広島大学医学部 Faculty Development, 広島大学医学部, 2010, 5, 16, 広島.
- 25) 奥寺 敬, 江波美紀: ICLS の指導者のあり方. 第 6 回 ICLS 指導者養成 WS, 富山 HPTC, 富山市, 2010, 5, 22, 富山.
- 26) 奥寺 敬, 橋本真由美, 山本由加里, 松下美雪: 脳卒中の初期診療の考え方. 第 20 回 ICLS/PSLS コース, 富山市, 2010, 5, 22, 富山.
- 27) 奥寺 敬, 橋本真由美, 松下美雪: ICLS コースの基本コンセプト. 第 57 回 ICLS/第 12 回 DCLS コース, 富山市, 2010, 5, 23, 富山.
- 28) 奥寺 敬, 安心院康彦, 中村丈洋, 井水秀榮: ISLS のファシリテーターの基本. 第 2 回 FUJITA-ISLS/WS. 藤田保健衛生大学研修センター, 2010, 6, 19, 愛知.
- 29) 奥寺 敬, 中村丈洋, 牧原真治: 地域医療と ISLS. 第 1 回宮崎 ISLS, 平田東日本病院, 2010, 6, 20, 宮崎.
- 30) 奥寺 敬: 救急外来トリアージ CTAS 2008 について. 救急トリアージ研修会, 善仁会宮崎病院, 2010, 6, 20, 宮崎.
- 31) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 山本由加里, 牧原真治, 内藤貴臣, 坂元美重: 糸魚川地域をモデルとしたエマルゴ. 糸魚川災害医療研修会, フォッサマグナミュージアム, 2010, 7, 3, 糸魚川.
- 32) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 牧原真治, 坂元美恵: 糸魚川地域における脳卒中搬送. 糸魚川災害医療研修会, 糸魚川市役所, 2010, 7, 4, 糸魚川.
- 33) 奥寺 敬: 脳卒中急性期の初期診療—地域における連携. 第 10 回群馬脳血管障害フォーラム, 群馬ロイヤルホテル, 2010, 7, 16, 前橋.
- 34) 奥寺 敬, 鈴木明文, 谷崎義生, 中村丈洋, 加登 讓: BLS と ISLS の連携からみる脳卒中初期診療. 釧路 ISLS&WS, 孝仁会記念病院, 2010, 7, 8-19, 釧路.
- 35) 奥寺 敬, 中村丈洋, 橋本真由美, 杉本和彦: ISLS-WS の基本. 高知 ISLS&WS, 高知医療センター, 2010, 8, 7, 高知.
- 36) 奥寺 敬, 中村丈洋, 橋本真由美, 杉本和彦: 神経蘇生としての ISLS. 高知 ISLS&WS, 高知医療センター, 2010, 8, 7, 高知.
- 37) 奥寺 敬, 山本由加里, 橋本真由美: ISLS (Immediate Stroke Life Support). 富山市, 2010, 8, 28, 富山.
- 38) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 新井 昇, 橋本真由美: 心肺蘇生研修コース ICLS. 第 59 回 ICLS コース, 富山市, 2010, 8, 29, 富山.

- 39) 奥寺 敬, 山本由加里: ICLS 指導の方略. 第 8 回 劔 ICLS-WS, 富山市, 2010, 8, 29, 富山.
- 40) 奥寺 敬: 富山型 ER トリアージシステムの構築. 富山県 CTAS/JTAS プロジェクト, 富山県医師会館, 2010, 9, 13, 富山.
- 41) 奥寺 敬: 緊急度判定支援システムと富山型 ER トリアージシステム. 富山県議会自民党政策勉強会, 9/15, 富山県議会議事堂, 2010, 9, 15, 富山.
- 42) 奥寺 敬, 橋本真由美, 松下美雪: 心肺蘇生研修 ICLS の意義. 第 60 回 劔 ICLS コース, 富山市, 2010, 10, 2, 富山.
- 43) 奥寺 敬, 江並美紀: ICLS 指導の方略. 第 9 回 劔 ICLS-WS, 富山市, 2010, 10, 2, 富山.
- 44) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 山本由加里, 松下美雪: 歯科診療と心肺蘇生の基本. 富山県歯科医師会 ICLS/DCLS コース, 富山市, 2010, 10, 3, 富山.
- 45) 奥寺 敬, 木澤晃代, 工廣紀斗司, 若杉雅浩, 太田晴美: CTAS (日本語版) モジュールについて. 富山県 CTAS/JTAS プロジェクト, 富山県医師会, 2010, 10, 3, 富山.
- 46) 奥寺 敬, 中村文洋, 橋本真由美: ISLS コースと ISLS ワークショップの要点. 第二回高知 ISLS, 高知県立播多けんみん病院 (宿毛市), 2010, 10, 19, 高知.
- 47) 奥寺 敬, 木澤晃代, 工廣紀斗司, 若杉雅浩, 背戸陽子, 山崎早苗: CTAS (日本語版) モジュールについて. 富山県 CTAS/JTAS プロジェクト, 富山県医師会, 2010, 10, 24, 富山.
- 48) 奥寺 敬, 中村文洋: 国際心肺蘇生ガイドラインと神経蘇生 (ISLS) コースについて. 第 2 回南大阪 ISLS セミナー, 近畿大学, 2010, 10, 31, 大阪.
- 49) 奥寺 敬: 神経蘇生としての ISLS. 第 5 回・第 6 回新潟 ISLS/PSLS, 新潟大学医歯学総合病院, 2010, 11, 28, 新潟.
- 50) 奥寺 敬: 富山型 ER トリアージシステムについて. 平成 22 年度砺波救急医療・消防連携協議会, 砺波総合病院, 2010, 1, 2, 砺波市.
- 51) 奥寺 敬: 脳神経外科領域の救急医療について—神経蘇生ガイドラインの最新の動向—. 第 42 回多摩脳神経外科今境, 吉祥寺第一ホテル, 2010, 11, 4, 東京.
- 52) 奥寺 敬: 新しい神経蘇生ガイドラインと神経救急. 第 8 回茨城県北救急医療フォーラム, 日立市消防本部講堂, 2010, 11, 13, 日立市.
- 53) 奥寺 敬: ISLS への道. 弘前大学高度救命救急センターセミナー, 弘前大学附属病院, 2010, 12, 11, 弘前市.
- 54) 奥寺 敬, 若杉雅浩, 橋本真由美, 山本由加里, 坂元美重: エマルゴトレインシステムの基礎, 2010, 12, 4, 富山市.
- 55) 奥寺 敬, 江並美紀, 吉崎めぐみ: ICLS 指導の方略. 第 10 回 劔 ICLS-WS, 富山市, 2010, 12, 4, 富山.
- 56) 奥寺 敬, 坂元美重, 吉崎めぐみ: 心肺蘇生研修 ICLS の意義. 第 61 回 劔 ICLS コース, 富山市, 2010, 12, 5, 富山.
- 57) 奥寺 敬, 木澤晃代, 若杉雅浩, 塙 隆茂, 西塔依久美, 齋藤 剛, 喜瀬裕美, 山崎早苗, 背戸陽子: CTAS (日本語版) モジュールについて. 富山県 CTAS/JTAS プロジェクト, 2010, 12, 5, 富山市.
- 58) 奥寺 敬: 平成 22 年度災害時医療行政連携机上訓練, 糸魚川市消防本部, 2010, 12, 19, 糸魚川市.
- 59) 奥寺 敬: 日本の救急医療の最新の動向. 第 11 回香川 ISLS/PSLS コース, サンポート高松, 2010, 12, 25, 高松.